

【学校法人会計の特徴と企業会計との違い】

学校法人の目的は、教育・研究を遂行することで人材の育成と研究活動の成果を社会に還元することを目的とする。

一方、企業においては、営利を目的としており、収益と費用から営業成績を判断するところにある。学校法人会計は、計算書類によって財務面から、教育研究活動の状態を知ることができる。また、学校法人会計は補助金の適正な配分と効果のため経理の標準化を図っている。計算書類には、主要3表「資金収支計算書」・「事業活動収支計算書」・「貸借対照表」がある。

計算書類の利用目的は補助金の適正な配分と効果、収支均衡と持続性の2点にある。